

2023年11月16日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則  
(東証スタンダード市場・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
TEL 03-6311-6641

## **株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル マレーシア国低公害型公共交通向け中型EVバス 譲渡式**

2023年9月14日、マレーシア国ペラ州タイピン市にて、株式会社ピューズ（PUES）と当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二 以下：OC Global）が実施した国際協力機構（JICA）中小企業・SDGs ビジネス支援事業「低公害型公共交通向け中型電気バスシステム普及・実証事業」で導入したEVバスの譲渡式典が開催されました。同式典には、北部回廊経済地域（NCER）の代表者、ペラ州議員、タイピン市長 Khairul Amir Bin Mohamad Zubir 氏、在マレーシア日本大使館参事官 細見昌史氏、JICA マレーシア事務所次長 稲垣良隆氏らが出席されました。



タイピン市へ導入されたEVバスの外観



譲渡式典の様子



試乗イベントの様子



乗客の様子

マレーシアでは、先端技術を用いて高付加価値な製品・サービスを生み出すとともに、環境を保全しつつ持続可能な開発を実現する「グリーン成長」が推進されています。具体的には、2030年までに温室効果ガスの排出量を2005年比で45%削減を目指しており、二酸化炭素や大気汚染物質を排出しないEV (Electric Vehicle) の導入による公共交通の低炭素化が喫緊の課題となっています。本事業では、豊富な自然・歴史遺産を有するペラ州タイピン市において、EVバスを活用した公共交通事業モデルを確立するため、PUES社のEVバス（急速充電器1基を含む）の導入をするとともに、高性能な日本製EVバス技術の移転による産業人材育成、EVバスの運行・維持管理を担うタイピン市役所(MPT)の運営体制構築、マレーシア政府関係機関・民間事業者等に対するEVバスの普及活動を実施しました。

導入したEVバスは、優れた環境性能と高エネルギー効率を有した「環境に優しい乗り物」として、タイピン市内の観光名所40カ所を巡る“Taiping Heritage Trail”（全長11.5km）の運行に使用されています。既存のディーゼルバスの排気ガスには、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)をはじめ、窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)、硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)、粒子状物質(PM)などの大気汚染物質が含まれている一方で、EVバスは走行時に排気ガスを一切排出しません。また、EVバスに搭載されているバッテリーやモーターは、一般的な内燃機関(エンジン)よりも少ないエネルギーで長い距離を走行できることに加え、低騒音・低振動での走行を可能にします。これらの特徴により、タイピン市に導入されたEVバスは、周辺地域の環境負荷を低減しながら、同市の観光振興に貢献することができます。

本実証事業を通じ、マレーシア国ペラ州タイピン市におけるエコツーリズムの推進およびMPTのEVバスシステム運営維持管理能力の向上が期待されます。

OC Globalは、低公害型公共交通向け中型EVバスの導入により、当該国の環境保護と観光振興の両立を支援し、公共交通の低炭素化に貢献します。



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル  
担当 広報室 富田早季

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020

[URL:www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)